第 119 回　島尻地区中学校バレーボール強化大会

審判上の注意事項

島尻地区　審判長　具志　吉正(兼城中学校)

１．①本大会は、２０２１年度（財）日本バレーボール協会６人制競技規則に基づいて行う。
２．各セット開始前に提出されたラインナップシートの変更は、記録員が記録用紙に記入完了後は認められない。
３．①試合前、エントリー選手（最大１８名）の中から、その試合の競技者（最大１４名）番号とリベロ番号を監督が記入しサインする。コイントス前にキャプテンはIF用紙にサインする。
②キャプテンは試合終了後も記録用紙にサインを行うこと。
４．監督は、記録席に一番近い席に位置し、ラリー中は、立ち上がってコーチングしてもよい。
５．監督がタイムアウトを要求するときは、ハンドシグナルを副審が気付くように示すこと。
６．ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。
ボールをプレーする動作の中には、踏み切りからヒット（又はプレーの試み）、着地までが含まれる。
７．競技参加者は、審判員の決定に対し、スポーツマンらしく反論せず、受け入れなければならない。疑問がある場合には、ゲームキャプテンを通じてのみ説明を求めることができる。
８．選手のユニフォーム（上下）、ソックスの色とデザイン（リベロを除き）は統一されなければならない。アンダーウェアが襟元や袖口、パンツの裾から出てはならない。
９.番号はユニフォームの胸部と背部の、それぞれ中央に付けなければならない。番号の色と明るさは、ユニフォームと対照的でなければならない。
１０．リベロについて
(1)リベロプレーヤーは､チームの他の競技者と対照的な色のユニフォーム(ユニフォームのデザインは異なっていてよい)、または、ビブス(ゼッケンのようなもの：このビブスは、高さ１５ｃｍ以上の「Ｌ」の文字をつける)を着用しなければならない。また、リベロプレーヤーが２名いる場合は、他のチームメンバーと同様に、２名が異なった番号を付けるか『ビブス』の色を変える必要がある。
(2)　タイムアウト後、プレーヤーがコートに戻る場合は、タイムアウト直前のプレーヤーであること。もし、リベロが交代するときは、一旦６人がコートに戻った後に交代すること。
(3)　交代する選手同士、互いに接近し、サイドライン上で一旦立ち止まり（つま先をそろえて止まる）、誰と誰が交代するのかがはっきりわかるように交代する。
※交代は、必ずリベロリプレースメントゾーンで行うこと。
１１．選手は、ケガの原因となるような物（金属製のヘアピン、サポーターなど）や装飾品（ヘアバンド・ネックレス・ブレスレッドの類）を身につけることは禁止される。（本大会申し合わせ事項）
１２．**３セット目の１３点でのコートチェンジ後、両チームがポールを超えた後に副審の吹笛で給水(30秒)を行う。副審は試合開始前にポジション及びサーバーの確認をしてから主審へ合図を送る。**

※注意事項
（１）ソックスはくるぶしが完全に隠れる長さであること。《日本中体連バレーボール競技部より》
（２）医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。《日本中体連バレーボール競技部より》
（３）セット開始前にコート内で円陣を行う際は、スターティングメンバーとリベロを含む６～８人で、副審がスターティングメンバーを確認する前に行う。（スムーズに試合を進行するためです）
（４）最終セットのチェンジコート後、速やかに試合を再開させるため、ポジションの確認はサービングチームのサーバーとレシービングチームの次のサーバー（又はバックライトの選手）を確認するにとどまっていたが、時間がかかってもセット開始時に同様の方法で全ての選手のポジションを確認してから試合を再開する。《日本中体連バレーボール競技部より》